

第657号  
 2015.6.2 (火)

# 総聯の還暦に乾杯！ イオフェスタに県内同胞大集合

雨の予報を一蹴し暑いくらいの天気の下、5月31日に総聯結成60周年を記念する「朝・日友好福島県イオフェスタ 2015」が開催されました。雨が降ることを想定し、大幅に変更された会場でしたが、ここに県内各地から同胞、日本の方々総勢300名(暫定)を超す人々がウリハッキョに集まりました。

イオフェスタ第1部の運動会では一生懸命競技をする学生たちの姿に応援を送りながら「久しぶりに走ってしまった。」「運動会を見るのは子供が卒業して以来数年ぶり、新鮮な感動がある。」と様々な声が聞こえてきました。

そして体育館での第2部のオープニングは総聯福島の活動を振り返る映像と県内60名の同胞、学生が参加した合唱「우리 자랑 이만저만 아니라고」。決して技術的には素晴らしいものではなかったのですが、気持が伝わったのでしょうか？観客席からは感動した、心が揺さぶられたととても好評でした。

参加者全員で声高らかに乾杯をした後は場所を屋外に移しての大焼肉パーティー！そしてこの日一番の目玉イベント、マグロ解体ショー！80キロのマグロが刀のような包丁で切り分けられ、みるみる内に日頃目にする「刺身」になっていく様子は子供だけでなく大人たちにとっても見応えのあるものでした。おろしたてのマグロで作った「マグロ丼」や刺身には長い行列ができていました。

43個の七輪が並んだテントの中は焼肉をほおぼる人たちでいっぱいでした。「こんなおいしい焼肉は初めて！もう3回もおかわりしました。」という日本の方もいました。

販売ブースもそれぞれ大盛況でした。オモニたち手作りのキムチ、キムパブ、スープなどは特に人気だったようです。もちろんオモニ会のデザートコーナーが早々と完売したのは言うまでもありません。

体育館内の子供コーナーも子供たちで大賑わいでした。

舞台では交流ステージが行われ、震災復興のためにハッキョを訪問したこともあるトム達のグループによる歌と演奏、アマチュアフオークバンド・ユウティリティーズの演奏、学生とチョチョントムたちによる農楽と全員参加のオンヘヤで会場は一気に盛り上がり、最後は注目の抽選会！下位の当選番号が張り出され、上位入賞者の抽選に全員が注目する中、1等は郡山市内のHさんに決まりました。ところがここで当選した方が辞退するということになり1等の抽選がやり直しに。6万円分の旅行券を半分に分けて浜通から参加した2名が当選しました。

参加された方々はみんなが総聯の力強さを実感できた、参加者も多くそれだけでも元気になったと言って下さいました。何日も前から準備に携わった役員の方々、アボジ会、オモニ会の皆さんお疲れ様でした。イオフェスタ成功させた勢いでこれからもウリトンポトンネを盛り上げていきましょう！

## 金正恩第1書記が総聯結成60周年に際し書簡寄せる

金正恩第1書記は5月25日総聯と在日同胞に書簡「偉大な金正日同志の志を継いで在日朝鮮人運動の新たな全盛期を開いて行こう」を寄せた。書簡では「総聯愛国偉業遂行にすべての力と情熱をささげて献身的に戦っている総聯の関係者と在日同胞に熱い感謝を送る」と強調した。そして総聯の強化発展のための課題が示された。

原文は朝鮮新報5月29日号またはホームページをご覧ください。

## アボジ会 チャリティーコンペ

恒例「セツピョル学園」の運営費捻出のためのアボジ会チャリティーコンペが6月8日に開催されます。

「セツピョル学園」とは？  
 日頃少人数で過ごす各地のウリハッキョ学生たちに「ウリハッキョは日本一のマンモス校だ」という事を体験させるために茨城朝高学区の各校が一堂に集まって数日間授業やその他の学校生活を共に行うイベント。今年6月26日～28日まで茨城ハッキョで行われる。

3	4	5	6	7	8	9
水	木	金	土	日	月	火
					アボジ会コンペ	